

# 熊本日日新聞 読者の広場 若者コーナー

令和3年3月13日掲載

2年1組 山口水貴

## 「苦手なことも続けていけば」

「総合的な学習時間」で、5回目の職業講話がありました。今回は最後の職業講話で、町出身の小学校の先生から話を聞くことができました。

その先生は、保育園の頃には、お花屋さんかケーキ屋さんになりたいと思っていたそうです。最初から学校の先生になりたいと思っていたわけではなく、小学校の時の先生との出会いの中で、だんだんと学校の先生になりたいと思うようになったそうです。それから、いろいろなことに積極的に挑戦していかれました。

その中でも、特に人前に立って話をしたりすることが苦手だったそうですが、自分から発表したり、生徒会に立候補したりするよう苦手なことにも挑んでいかれました。

「何回も人前で話すことをすればできるようになるのではないか」と考えられて、そういう機会を自分からたくさん作ったそうです。また、発表の前日までに家族や学校で練習をしていたそうです。

私も、人前で話すときに緊張してスムーズに話すことができないときがあるので、その先生の言われたことを参考に頑張っていきたいです。

今回の職業講話では、苦手なことやきついことでも、続けていけば、大人になったときに、やってきて良かったと思えると言われていました。今後、どんなことでも一生懸命頑張っていきたいと思います。